(様式1)

施設指定管理者モニタリングチェックシート

令和4年 10月～12月

施設名	豊明市老人福祉センター
指定管理者名	社会福祉法人 豊明市社会福祉協議会
指定期間	平成31年年4月1日～令和6年3月31日
所管課	豊明市長寿課

区分	項目	指定管理者	指定管理者備考	市	市備考	
①業務の履行確認	【施設全般の管理運営に関する業務】					
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A	風呂は週3回実施	A	女性が体育館でスポーツした後に利用するようになった。	
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A		A		
	人員体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A		A	職員4人のうち2人体制を常時取っている。	
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A	ボイラー技士、看護師、准看護師、介護福祉士各1名配	
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A		A	業務日誌と修繕記録を確認済み	
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A		A	防災防犯対策課指導によりR2にマニュアル整備済み	
	【利用者に関する業務】					
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A		A	前年度同期に比べて4名減少。同年前期に比べて6名増	
	利用料金の設定、徴収、還付等手続は適切か	A		A	名札を200円据え置きとしている。名札仕入れ値上昇中。	
	【保守点検並びに清掃業務等】					
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A		A	点検はボイラーのみ。毎日実施。空調は体育館にて保守。	
	定期的に清掃、除草、剪定等が行われているか	A	樹木、枝伐採、除草など美化に努めている。窓清掃実施。	A	樹木剪定、除草は職員が直接実施中。現地は適切に清掃されていた。	
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A	都度実施	A	異常等発生なし。	
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A	感染症対策を行っている。	A		
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等が行われているか	A	風呂タイルの補修。風呂照明機器脱落修理	A	左記を職員が直接実施	
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A	記録を作成し管理している。	
	備品は適切に管理しているか	A		A	台帳を作成し管理をしている。	
	消耗品等は適切に補充しているか	A		A	事務用品、修理用品等補充している。	
	【事業の実施に関する業務】					
	指定事業は適切に実施されたか	A	感染症対策を徹底した中で行っている。	A	実施している。	
	自主事業は適切に実施されたか	A		A	書道等趣味教室など14事業実施している。	
	【個人情報の取り扱い】					
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A		A	事務所内のカギのかかる書庫で管理	
	【①に係る指定管理者の自己評価】 6月以降風呂の人数制限解除を実施したが、7月26日以降定員を再び5名とし感染拡大防止を継続実施。7月26日以降各部屋の定員を2/3に削減したが9月30日以降は解除継続中。					
	【①に係る施設所管課の評価】 依然としてコロナウイルス感染症対策が必須であり、その対策として消毒液の設置、施設利用の人数制限等対応がなされています。清掃、除草等現場を確認しましたが、整理が行き届いていました。浴室の修繕もとても安定した状態であり、今後も管理をよろしくお願いします。				区分評価	A

区分	項目	指定管理者	指定管理者備考	市	市備考
② サービスの質の評価	【施設の運営状況に関する事項】				
	窓口対応は適切に行われているか	A		A	行われている。
	アンケートを実施するなど、利用者の意見を聞いているか	A	11月アンケート実施	A	100人対象に行ったが、特に問題はなかった。
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A		A	蛍光灯が切れいているとの申し出に対応済み
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A		A	第3四半期なし。
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A	新型コロナ感染拡大防止のためセンター入口に手指消毒液を継続設置。	A	特に問題なし。
	貸出備品等は良好に保たれているか	A		A	特に問題なし。
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	A	介護講座 コロナに負けない体作り音楽サロン	A	特に問題なし。
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】				
	困りごと相談窓口を開設し利用者の生活相談に応じている	A	月1回相談窓口を開設	A	センター玄関やHPで掲載中。今期相談実績なし
	健康啓発にて来館者の熱中症予防や感染症予防ができていますか	A	熱中症予防、感染症予防関係の指導徹底	A	
	福祉団体等の関係機関と連携協力し、利用者と地域社会が協働できる事業を実施しているか	A		A	書道等趣味教室、囲碁クラブ、老人クラブ等実施
	HPIによる広報・PR活動により利用者の増加	A	本会HP内に老人福祉センター情報を提供	A	
	【②に係る指定管理者の自己評価】 センター入口にて健康チェック及び検温を実施。また、館内は窓を開け換気し、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めた。適所に資格のある職員を配置し、利用者への対応ができています。 物販10～12月上売件数(コピー白黒99件、コピーカラー0件、タオル0件、名札3件)				
【②に係る施設所管課の評価】 コロナ禍の中、利用者数は昨年度とほぼ同数				区分評価	A
③ サービス提供の安定性の確認	事業収支は黒字になっているか	B		B	赤字。委託料(年度末の精算)により対応可能
	必要な帳簿は備えられているか	A		A	帳簿等確認
	経理処理は適正に行われているか	A		A	
	収入増加のための取組がなされているか	A		A	今後名札の原価増の可能性あり、対応予定。
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A	節電や裏紙利用。	A	電気消灯、裏紙利用実施中
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A	
	【③に係る指定管理者の自己評価】 事業運営に関して、健全で安定した運営を行うことができています。				
	【③に係る施設所管課の評価】				区分評価

【項目評価】

- S (優良) : 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。
- A (良好) : 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。
- B (課題あり) : 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C (要改善) : 協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

- S (優良) : 項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A (良好) : 項目評価が全てA以上。
- B (課題あり) : 項目評価にBがある。
- C (要改善) : 項目評価にCがある。